

	児童の実態	指導上の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> 読書が好きで、朝読書の時間や本読みの時間に進んで取り組める。 興味のあることには意欲的に取り組むが、相手の考えを認めながら聞くことが難しい。 自分の考えや思ったことを文章で表現する力は十分ではない。 自分の考えや意見を伝えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の学習課題をきちんと理解し、課題解決できるようにさせる。 書かれている内容を正確にとらえ、確かな読み取りができるようにさせる。 出来事や思ったことを相手を意識してわかりやすく表現できるようにさせる。 自分の考えや思ったことを順序だてて話せるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題の提示をわかりやすくし、解決に向けてスモールステップをする。 音読を徹底指導することにより、教材を身近なものにし、学習意欲をもてるようにする。 文章で表現することを習慣化させ、表現の仕方、文章の組み立て方や言葉の決まりを細かく指導する。(日記・作文指導) 作文を読み合い、友達の作品のよさに気づき参考にできるようにする。 自分の考えを伝えあう機会を多く持つ。 学校図書館を活用し、様々な本とふれあい視野を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のスピーチや詩の紹介などを通して、話し方、聞き方を学習する。 家庭学習での日記を定期的に行う。 自分の考えを伝える場を多く持つ。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組むことができる。 地図記号を知ること、地図の読み取りができるようになってきた。 苦手意識を持ってしまふ児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練馬区や学校の周辺についてわかったことをわかりやすく表現できるようにさせる。 学習の目標を明確にし、ポイントをしぼって学習を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 町たんけん、絵地図作りなどを通して、体験したことを生活に生かしていく。学習を通して考えたことを自分の言葉で書かせていく。 体験学習を意識的に増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表したものをもとにみんなでもう一度学びあい、教えあい、社会科の学習内容の理解を深める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に真剣に取り組む、よく考えて取り組む。 計算の力は身に付いているが、文章問題に苦手意識を持つ児童がいる。 長さや時間など、量的にとらえる力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える習慣をつけさせ、自分の考えをノートに書いて発表する経験をさせる。 友達の考えをきちんと理解し、考え方の多様性が分かるようにする。 文章を想像しながら読むようにさせる。 体感的に量をとらえられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組めるよう、個々の能力に応じた課題を出すようにする。 既習の問題を繰り返し解くようにする。 ノートの書き方をしっかりと身に付けさせ、学習したことが積み重なっていくようにする。 自分の考えを自分の言葉で書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元によって、少人数クラスの編成を変える。 習熟の時間を活用し、計算力の向上をはかる。 補習が必要な児童には放課後などの時間を有効的に使う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 興味を持って学習に取り組む児童が多い。 植物や生き物の観察に意欲的に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験においては、結果の予想とその理由、実際の結果との違い一つ一つ考えさせながら取り組ませる。 学習したことが生活と密着できるよう、考えさせる。 観察はポイントを絞って書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験の目的、内容、予想、結果、発展と一連の流れに沿って学習を進め、自分の考えやその根拠を自分の言葉で表現する。 グループ活動を取り入れ、考えを出し合いながら、考えを深められるようにする。 身近な動植物に興味を持てるよう、環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科のキーワードを、自分の言葉で説明できるようにさせる。 動植物に関しては、継続して飼育できる環境を作る。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守り、友達と仲良くゲームをすることができる。 跳んだり、はねたり、走ったり、ボールを投げたり、ぶらさがったり、色々な動きを楽しんで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士で話し合っってよりよい動きを工夫する力を身につけさせる。 自分の能力にあった目標を持たせ、適切な練習ができるようにする。 いろいろな運動に取り組む、様々な動きを経験させ、楽しんで活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業や普段の生活の中で筋力のアップを意識し、運動能力向上に努める。 友達と協力して運動する機会を多く持つ。 クラス遊び等をきっかけとし、運動する機会が増えるよう工夫する。 基本の運動で段階的に技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 努力が結果として表れるよう、スモールステップを心がける。 できるようになったことが自分で分かるように、学習カードを活用する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 物事のよし悪しの判断は出来るが、実際の行動と結びつかないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちのよいところを見つけようとする態度を育てる。 道徳で学んだことを日常生活に生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が身近に感じられる教材を用意する。 学んだことが実生活で生かされるように声かけをする。 身近な問題に関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での生活の様子に絶えず気を配っておく。 自分の経験を振り返って、伝えたり、考えを持ったりし、それらを発表できるようにする。
特活	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して大変意欲的である。 自主的に係活動に取り組んでいる。 話し合いを少しずつ身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのルールがまだ完全には身につけていないので、経験を通して身に付けるようにする。 よりよい話し合いの進め方を考えさせる。 学級全体や友達のことを考えられる発言を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの時間をきちんと確保し、自分たちで解決していける力を養う。 よい発言、話し合い活動に発展的な発言は評価し、今後大切にできるようにする。 活動の振り返りを大事にし、子供の感じたことをもとに助言していく。 	<ul style="list-style-type: none"> よい意見や活動は全体の前で取り上げ、みんなの財産として力をつけていけるようにする。 経験したことを次の話し合いで活かせるように助言していく。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習に意欲的に取り組む。 調べたことをまとめたり発表したりすることに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味ある課題から、少しずつ社会に目が開かれるよう系統的な学習の計画を用意する。 課題にあった様々な発表の仕方を体験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に計画、準備、実行、考察までを行わせ、プロジェクトの全貌を見通す力をつけさせる。 発表の仕方、まとめ方の例を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> アニマルセラピーの実施 地域との連携を深めていく。